

東北調査 2020

概要

日時：

【岩手コース】

2020年11月1日（日）～11月3日（火）

【宮城コース】

2020年10月31日（土）～11月3日（火）

参加者数：

東北大学1名，信州大学3名，熊本大学1名

訪問地：

【岩手コース】

○1日目

- ・岩手県宮古市田老地区「たろう潮里」

○2日目

- ・釜石市鶴住居地区「うのすまい・トモス」
- ・釜石市唐丹地区唐丹公民館にてヒアリング調査

○3日目

・利活用を踏まえた震災アーカイブの自立的運用モデルに関する研究会

- ・閑上地区

【宮城コース】

○1日目

- ・シーパルピア女川周辺
- ・石巻市雄勝町波板地区
- ・石巻市雄勝町ローズファクトリーガーデン

○2日目

- ・石巻市の防集
- ・震災遺構「門脇小学校跡」
- ・石巻市河北地域二子団地
- ・震災遺構「大川小学校跡」
- ・石巻市蛇田地区・新蛇田地区復興住宅

○3日目

・利活用を踏まえた震災アーカイブの自立的運用モデルに関する研究会

- ・閑上地区

調査の目的

岩手コースは「石碑の認知と継承に関する調査」と「学校施設の復興に関する調査」，宮城コースは「同一集落内への移住に関する調査」と「防災集団移転団地に関する調査」を目的として調査を行った。最終日は両コースが合流し，東北大学にて「利活用を踏まえた震災アーカイブの自立的運用モデルに関する研究会」を東北大学および信州大学と共同で開催した後，宮城県名取市かわまちてらす閑上，名取市震災復興伝承館，日和山を視察した。



岩手県宮古市田老地区復元模型



女川巡検の様子